

SHURE
SOUND EXTRAORDINARY

すべての参加者が双方向に 「聞こえ合う」会議へ

遠くの人も近くの人も肉声を近距離で聞いている状態に近い
音量・音質で聞き取ることができるソリューション

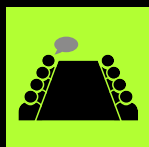
ボイスリフト・システム

自然で快適な双方向コミュニケーションを実現。

補助拡声「ボイスリフト」が 会議環境を変える。

重要な会議において、声が聞こえにくかったり、マイクのやり取りが煩雑だったり
コミュニケーションが滞った経験はありませんか？

ボイスリフトとは、「声を持ち上げる」補助拡声のことで、収録した音を、肉声が聞きづらいエリアのみに
補助的に拡声し、会議室の空間全体の音声の聴こえ方が均一になるよう改善する仕組みです。



会議室



講義室



多目的室

会議や講義に集中し成果を出すために、音は重要な要素です。

音響設備への投資を、コミュニケーションや設備管理の観点から見直してみませんか？

天井設置型マイクロホンを使ったボイスリフトシステム

参加者全員の声が自然にはっきり「聞こえ合う」

広い空間で遠く離れていても、全ての参加者が互いに同じ条件で「聞こえ合う」ことが可能です。また音量は肉声に近いレベルに調整されるため、耳にやさしい音響空間を作ることができます。

マイクを意識せずハンズフリー

話し手はマイクを持たずに、動きながら発言できます。

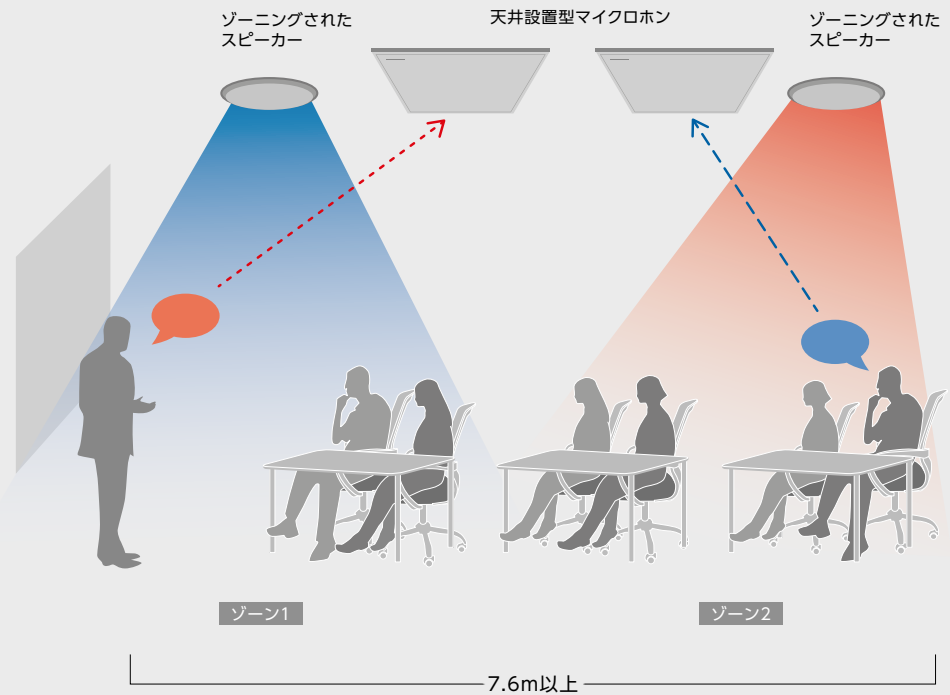
全員の活発な発言が期待できる

マイクを探したり手渡したりすることなく、自由に発言した言葉を全員と共有することができます。

準備や撤去が不要

ケーブルの都度の配線作業がなく、マイクの充電も不要。

ゾーン別に適度な音量で話し手の声を出力し、肉声を補助



一般的な拡声システム

大音量や迫力を重視

通常、スピーカーは空間の前方に位置します。聴き手は座る場所によって聞こえ方が異なり、前方だと大音量で疲れるなど、必ずしも心地よい体験でない場合があります。

マイクを常に意識

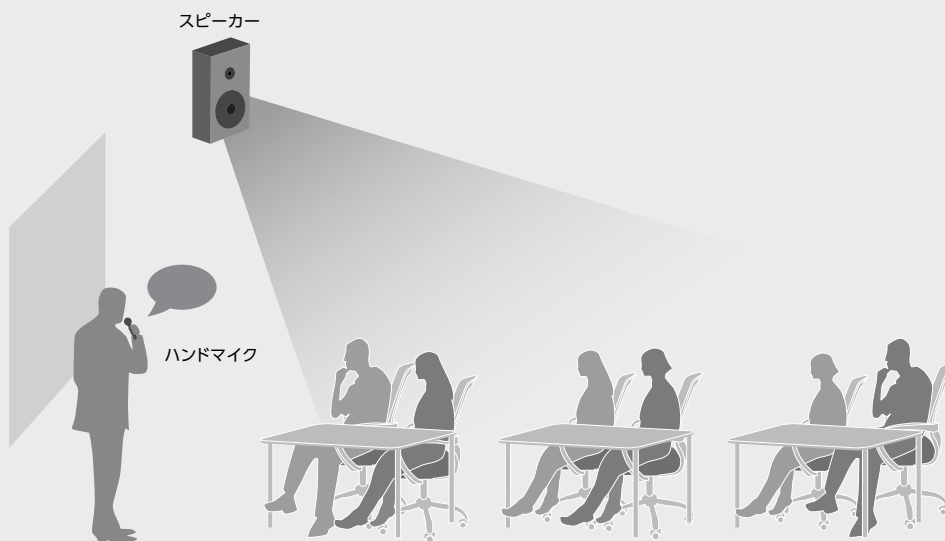
話し手はマイクを持って、もしくは身に付けて話します。收音の面では優れていますが、マイクの位置や取り扱いを常に意識する必要があります。

発言者であることをより意識する

マイクの取り扱いに意識を割かれるため、発言者と聴き手という意識の差が生まれます。この点が活発な議論に影響する場合があります。

入念な準備が重要

マイクをはじめとする機器の設置や配線・接続、充電残量などに気を配る必要があります。

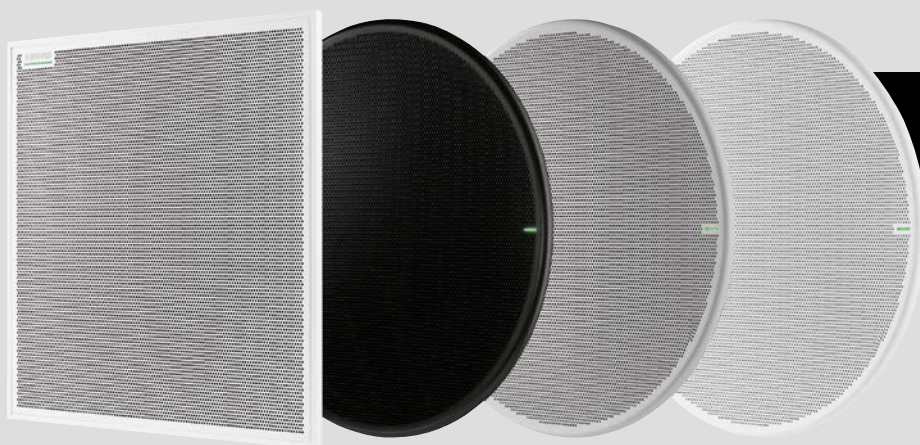




ボイスリフトの仕組みを支える Shureの独自技術

頭上からの收音性能に優れた「アレイマイクロホンテクノロジー」

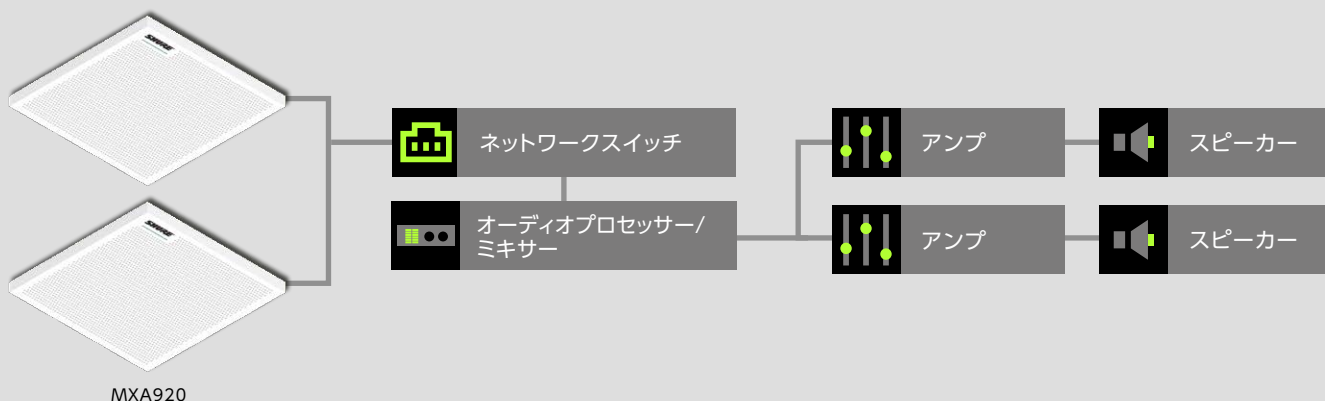
トランスデューサーを使用して、高指向性の收音ローブを生成します。ローブの幅と方向を調整することで、室内のノイズやエコーの影響を最小限に抑えながら、確実に発言者の声を捉えることができます。



ボイスリフトシステムを構成する 主な機器

天井設置型マイクロホン Microflex® Advance™ MXA920

さまざまな設定が可能で、あらゆるサイズ、形状、用途の会議室で頭上から音声を拾います。部屋の意匠を邪魔しない、参加者の目に触れない控えめな存在感のデザイン。



Shure MXA910 を使ったボイスリフトシステム導入事例



立命館大学大阪いばらきキャンパス様

立命館大学大阪いばらきキャンパスにある、コロキウムと名付けられたセミナールームは、大型タッチパネルディスプレイを導入するなど先端のAVシステムを設置している。立命館大学情報システム部情報基盤課の倉科健吾氏が「常に新しいことに挑戦する教室」と話すコロキウムに、Microflex AdvanceシリーズのシーリングアレイマイクロホンMXA910が導入された。「ホワイトボードに板書するときなど、マイクに対して後ろを向いた時、向いたなりの音になるのですが、ナチュラルなので聴き取りにくくなるという事はありませんね。収音されるエリア内においては、雰囲気も含めてそこで話した声そのまま大きくなるイメージです。もちろん、それはスピーカーのチューニングなども詰めた結果なので、マイクだけの力ではないのですが、録音用に分岐した音を聴いても自然な音で録れていることがわかります。

また、私も不思議な感覚なのですが、いま出ている音はスピーカーを使って拡声している感じがあまりないんですよ。」と倉科氏は語る。



立命館大学
情報システム部情報基盤課
倉科健吾氏

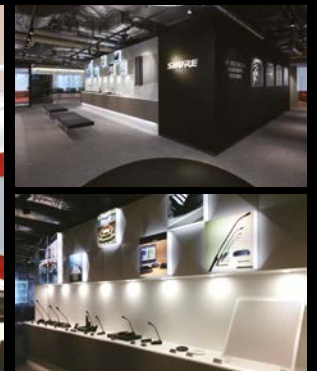


本事例について
詳しくはこちら



Shureショールームご案内

東京・神谷町のShure Japanオフィスでは、実際の製品をお試しいただけるエクスペリエンスセンターを完備しています。トレーニングルームでは、本カタログでご紹介したボイスリフトシステムを利用しており、自然に改善された空間全体の音声の聴こえ方を実際にご体感いただけます。その他、企業環境向けのネットワーク型デジタルワイヤレスシステムなど、お客様の用途にあった製品のデモを体験していただくことができます。ショールームでのデモをご希望の方は、メールでご連絡ください。(contact@shure.co.jp)



シュア・ジャパン株式会社

〒105-6035
東京都港区虎ノ門4丁目3番1号
城山トラストタワー35F

Mail : contact@shure.co.jp

shure.com/ja-JP

SHURE
SOUND EXTRAORDINARY

©2022 Shure Incorporated.
SHURE and the SHURE logotype are registered trademarks of Shure Incorporated or
Shure Acquisition Holdings, Inc. For additional information, see shure.com/trademarks.